

命を守る！

防災

豆知識

第10回

～地震火災はなぜ起きる？「通電火災」に備えよう！～

「通電火災」とは、停電から電気が復旧する際に発生する火災です。

大きな地震が発生すると一時的に停電することがありますが、電気ストーブやアイロンなどの電気機器の電源が入ったまま停電が復旧し、再通電することにより、地震の揺れで散乱した可燃物が加熱され、出火することで発生する火災が「通電火災」です。

○感震ブレーカーを設置しましょう！

「通電火災」を防ぐには、停電時に避難する場合にブレーカーを落としてから逃げるなど、停電が復旧しても電気機器に再通電しないようにすることが重要です。

しかしながら、大きな地震が発生すると津波が襲来する恐れもあるため、ブレーカーを落としてから避難する余裕がない場合があります。

そこで「通電火災」の対策として効果的なのが、感震ブレーカーの設置です。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを落とす装置です。感震ブレーカーは、分電盤に取り付けるものやおもりを利用した簡易なものなど、様々な種類があります。

○感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）



分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。

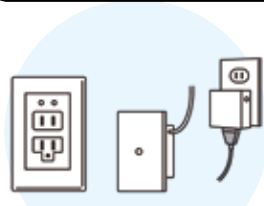
電気工事が必要

分電盤タイプ（後付型）



分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。

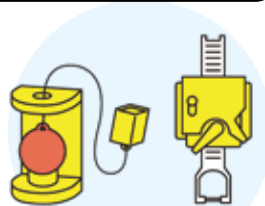
コンセントタイプ



コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。

電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある

簡易タイプ



ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。

電気工事が不要

※住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

簡易タイプの感震ブレーカーは、電気工事不要で、ホームセンターなどで購入できます。分電盤タイプの感震ブレーカーは、電気工事が必要となりますので、取り付けを検討する場合は、電気工事業者にご相談ください。

防災
ミニ
クイズ

？

本市の地域防災力の向上を目的として、令和5年5月に結成された組織は、「陸前高田市○○○○○○○の集い」

★答えは19ページ下部に掲載しています。

問い合わせ先 市役所防災課（内線703）

第7回

陸前高田市 男女共同参画計画を推進しています



この連載では、男女共同参画計画の各基本目標と、市民の皆さんが取り組める内容を紹介しています。最終回の基本目標6は、「社会」、「家庭」、「地域」、「職場」、「教育の場」に続き「安心して暮らせるまちづくり」です。

基本目標6 安心して暮らせるまちづくりの推進

施策の方向

① あらゆる暴力の根絶

暴力は、生活に不安感や恐怖心を植え付け、基本的人権の重大な侵害であり、決して許されるものではありません。

暴力は許されないもの、社会的な問題であるという認識を広め、その根絶に向けた啓発活動を積極的に行います。

② 生涯にわたる健康づくりの推進

誰もが心身ともに健康で過ごすために、乳児期から高齢期までのライフステージに応じた保健サービスを充実するとともに、生涯にわたるスポーツや文化活動などのレクリエーション活動を推進します。

③ 多様な性の尊重と性的マイノリティへの偏見や差別の解消

性の多様性が尊重され、性的マイノリティ（様々な性自認や性的指向を持った人たち。性的少数者）への理解を促進するための普及啓発を行います。

みんなで考え行動していきましょう！

～ 市民ができること ～

- ・どのような理由があっても、暴力をふるってはいけないという意識を互いに持ちます。
- ・DV（配偶者間その他の関係における暴力的行為）などの悩みがある場合は、早めに関係機関に相談します。
- ・身近にDVなどの悩みを抱える人がいる場合は、早めに関係機関に相談するよう勧めます。また、そのような人が声をあげることが難しい場合には、関係機関につなぎます。
- ・心身ともに健康で過ごすことができるよう、自分に合ったスポーツやレクリエーションなどに取り組みます。
- ・多様な性のあり方について、知識と理解を深めます。

～ 令和6年度陸前高田市男女共同参画推進協議会を開催しました ～



協議会の様子

令和6年度陸前高田市男女共同参画推進協議会が、1月24日（金）に開かれました。

今回は令和6年度の事業進捗および令和7年度の事業計画などについて協議し、「多様な性の尊重」、「家庭生活と他の活動の両立」、「地域コミュニティにおける協働」など、多岐にわたって委員の皆さんによる活発な意見交換がなされました。

市では、今後も「誰もが多様性を認め、快適に安心して過ごせるまちづくり」を推進していきます。

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課コミュニティ係（内線122）